

就活の経験を 後輩へ



「就活会」では、自身の体験をもとにアドバイスしたり、下級生の相談にのりました。



BESTのメンバーのスケジュール帳。就職活動中は、びっしり予定が埋まっています。



香川大学就職サポーター BEST

KEYWORD

【キャリア支援センター】
香川大学生の就職活動を支援する中心的な場所。求人情報や各企業の情報が集まっており、専門相談員による就職相談を行っている（予約制）。BESTの活動も、ここがサポートしている。

「BESTの代表ということで、さぞかし順調だったのだろうと勘違いされますが、実際はかなり苦戦した」そうです。県外の企業にも積極的にアプローチし、関西だけでも60回以上遠征。3年間で貯めたバイト代の大半を就職活動に使ってしまったと言います。「人一倍苦労しました。それだけに、学んだノウハウもたくさんあります。苦労することに意味があると思うので、この知識を伝えると共に、3年生には納得のいく就職活動をしてもらいたいというのがBESTを始めたきっかけですね」。

理想的な活動を続けてきたBESTですが、4年生の卒業を間近に控えた今、ひとつの問題を抱えています。3年生が就職活動の真っ最中のため、メンバーの在学中に、BESTの活動を引き継がないのです。三宅さんは、キャリア支援センターの方と相談しながら、活動を継続できる方法を模索しています。「私たちの卒業後も、誰かが想いを繋いでくれると信じています。活動が続く限り、私たちもOB・OGとしてバックアップをしていきたいですね」。

先輩の経験を自分のものにできれば、就職活動はずっと楽になります。先輩から後輩へ、そしてそのまた後輩へ。BESTの活動を通して、代々の先輩の経験が未来へ引き継がれていきそうです。

大 学3年生になると就職活動が始まります。生まれて初めての就職活動には苦勞がつきもの。程度の差はあっても、ほとんどの学生が失敗を重ねながら、自分を売り込むノウハウを身につけていきます。しかし、せっかく手に入れたノウハウも結局は自分だけのもの。次の年の後輩に引き継がれることは少なく、後輩もまた同じような苦勞を続けています。

それではもったいない！と昨年の卒業生が3年生の就職活動をサポートする団体「BEST」を立ち上げ、今年内定の決まった13名の4年生がその活動を引き継ぎ、拡大しました。現代表は、経済学部の三宅陽子さん。

「就職活動を始めた時は、わからないことだらけでした。いろいろなことを学びましたが、活動を始める前に知っておきたかった！ということがたくさんあります。それを、どうにか後輩に伝えたいと思ったんです」。

学校には就職活動をサポートする「キャリア支援センター」がありますが、「つい最近まで就職活動をしていた学生ならではの声を伝えていきたい」というのがBESTの考え。本格的な就職活動が始まる直前の10月と11月、毎週木曜の夕方に、3年生を対象とした「就活会」と名付けた相談会を開催しました。「自己分析体験！」「エントリーシートにふれてみる」など、毎週違うテーマを決めて、気軽な雰囲気での運営。3年生からすると同世代の先輩は話しやすいようで、参加した人からは次々と質問が飛び出しました。後輩の真剣な眼差しを見て「出来る限りのことをしてあげよう」と決意を新たにしました。

ところで、三宅さん本人の就職活動はというと